

神戸市感染症発生動向調査週報

平成28年12月7日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第48週 2016年 11月 28日 ～

2016年 12月 4日

インフルエンザ 設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	4	2	2		29	8	11	27	13	96		1	2	1	4	3	6	6	6	5	3	22	7	5	7	8	4	1	5	

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	1	2	1		5	1	2	4	4	20	5	5	3	5	1	1								
咽頭結膜熱		2				1	2	2		7					3	2	2							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	11	7	2		5	3	2	3	30	63				3	2	6	9	3	14	5	3	12	2	4
感染性胃腸炎	47	31	23	9	89	37	95	132	68	531	1	8	64	51	58	60	64	47	33	20	28	32	5	60
水痘	1	3		1	3	1	4	10	2	25			3	2	4	3	5	2	3	1		2		
手足口病	1	2			7		2	1		13			6	1	1	4	1							
伝染性紅斑		1				1	1			3						1				1	1			
突発性発疹	3	1		1	1			1	4	11		4	5	2										
百日咳																								
ヘルパンギーナ					1					1								1						
流行性耳下腺炎	19	1	2	1	15	4	8	7	6	63			3	3	8	3	10	6	9	11	2	7	1	

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

設置地区別																														
疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	
急性出血性結膜炎																														
流行性角結膜炎					1			5	1	7			1		1			1					1	1	1	1				

（定点機関から報告されたその他の感染症情報）

東灘区○マイコプラズマ肺炎2例：0～4歳男、10代男（6101）
東灘区○ノロウイルス感染症8例：年齢・性別不明（6101）
灘 区○マイコプラズマ感染症1例：5～9歳男（6202）
中央区○アデノウイルス感染症1例：0～4歳女（6301）
中央区○カンピロバクター腸炎1例：0～4歳男（6301）
北 区○カンピロバクター腸炎1例：5～9歳男（6505）
北 区○ノロウイルス腸炎1例：0～4歳男（6505）
垂水区○カンピロバクター腸炎1例：年齢・性別不明（6804）
垂水区○マイコプラズマ感染症4例：年齢・性別不明（6804）
西 区○アデノウイルス感染症2例：0～4歳男（6902）
西 区○マイコプラズマ感染症1例：10代男（6902）
西 区○ノロウイルス感染症1例：年齢・性別不明（6903）
西 区○マイコプラズマ感染症1例：10代男（6905）

（インフルエンザ定点機関から報告された迅速キット陽性情報）

A 型	B 型
83	2

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向](#) [【検索】](#)

[インフルエンザ予防接種神戸市公費助成等制度はこちらをクリック](#)

【結核に関する情報】 今週の結核届出患者数は10人（うち潜在性結核感染症2人）です。

【市内の感染症の状況】●感染性胃腸炎の患者数がここ数週間で急激に増加しており、

警報レベル（定点あたり患者報告数20人以上）に近づいています（第48週：同17.1人）。

●今年2例目となる腸管出血性大腸菌（O157）による溶血性尿毒症症候群（HUS）の報告がありました。HUSは溶血性貧血、血小板減少、急性腎不全を3主徴とし、腸管出血性大腸菌（EHEC）の約10～15%に発症し、HUS発症者の約1～5%が死亡するとされています。神戸市では毎年1例程度報告されています。

●平成28年の侵襲性肺炎球菌感染症の報告数が過去最多になっています。（平成25年：23例、平成26年：28例、平成27年：34例、平成28年（12/4まで）：59例）

【感染症発生動向調査事業実施要綱】

<http://www.city.kobe.lg.jp/life/health/infection/trend/img/youkou110729.pdf>

※病原体サーベイランスとは、流行する感染症の病原体を詳しく調べて、その特徴や流行状況を監視するシステムです。解析結果は、「神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況」をご覧ください。

第48週（11/28～12/4）のインフルエンザ定点あたり患者数は2.0となり、流行開始の目安となる1.0を超えました。例年、流行入りすると数週間以内に、急激に患者数が増加する傾向にあります。流水・石鹸によるこまめな手洗い（アルコールによる手指消毒も有効）、マスク着用、咳エチケット、加湿器等で室内を適切な湿度（50～60%）に保つなど感染予防に努めましょう。発症から48時間以内に抗インフルエンザ薬の服用を開始すると、発熱期間が、通常1～2日間短縮され、鼻やのどからのウイルス排出量も減少します。ワクチンは重症化を予防し、発症をある程度抑える効果があります。神戸市では高齢者の定期接種、及び小児（1～13歳未満）は任意接種として予防接種費用の一部公費助成等を実施しています（詳細は神戸市HP参照）。

# 神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2016年12月7日 作成

## 全数把握対象感染症発生状況 (三類感染症 腸管出血性大腸菌感染症)

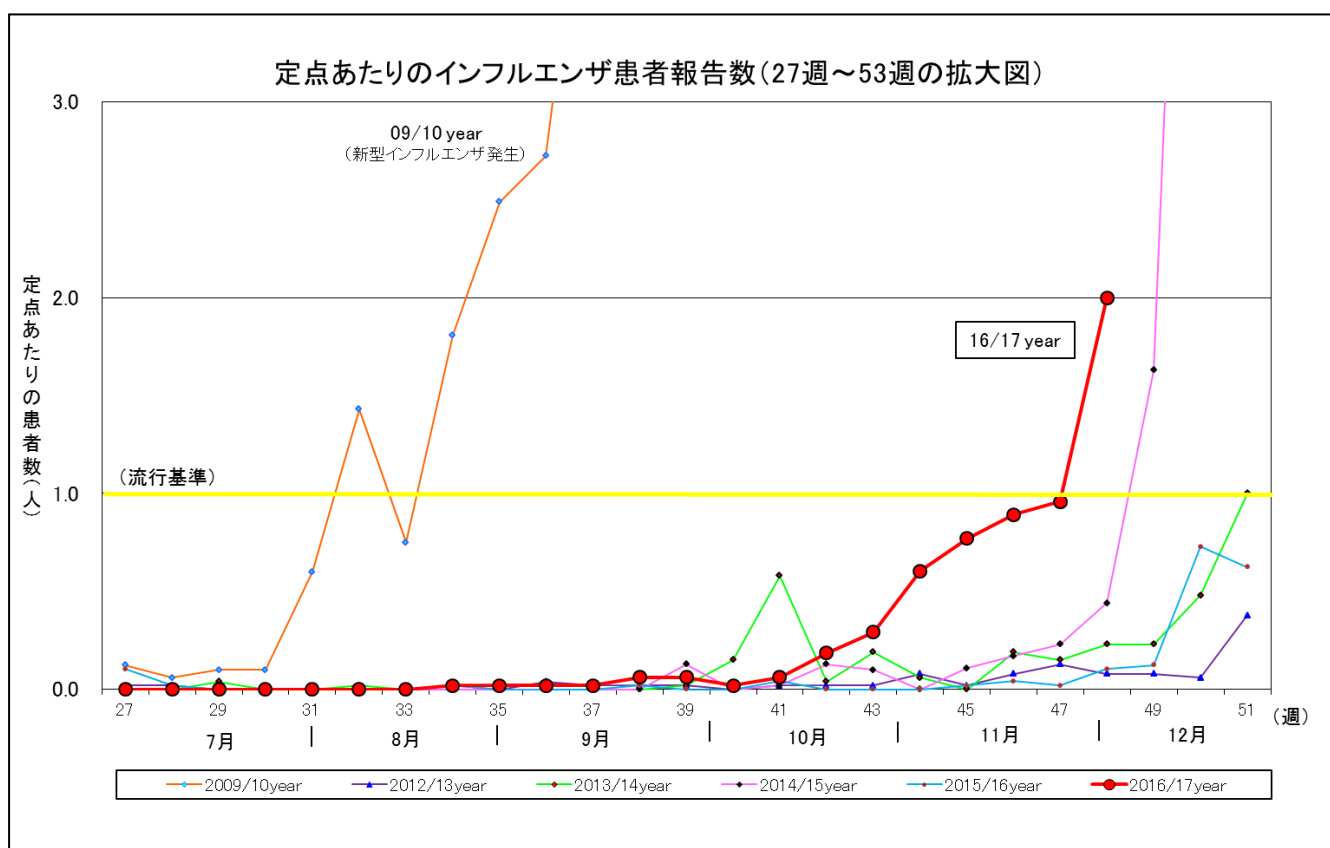
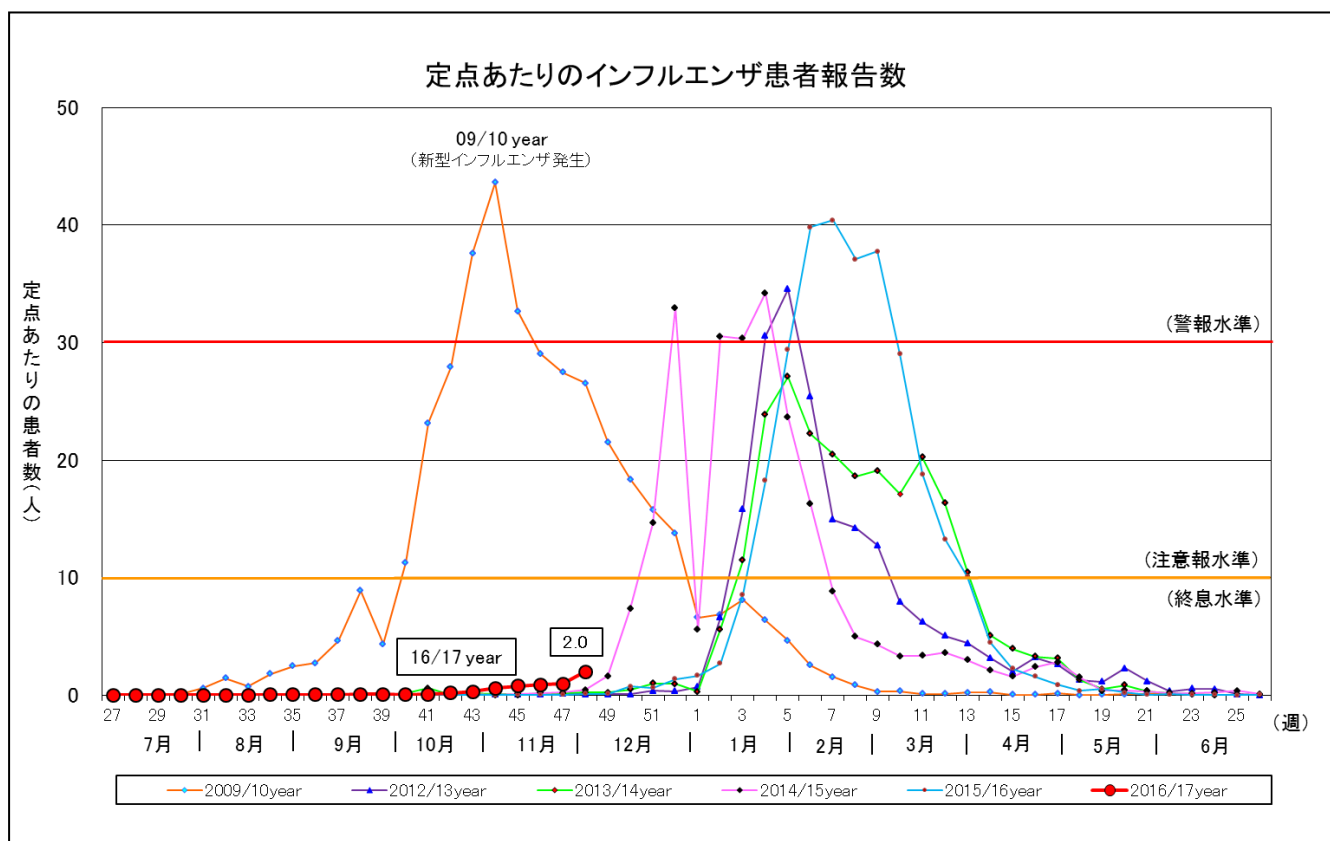
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	菌種	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	90代	2016年11月21日	2016年11月21日	2016年11月25日	O157 V T1 V T2	便培養法	水様性下痢・血便 溶血性貧血 溶血性尿毒症 症候群 (HUS)	経口感染	

## 全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	70代	2016年11月26日	2016年11月27日	2016年11月28日	/	血液培養法	頭痛・発熱・全身倦怠感 痙攣・意識障害・髄膜炎 項部硬直・菌血症	不明	ワクチン接種歴なし
男	10代	2016年11月30日	2016年11月30日	2016年12月1日	/	血液培養法	発熱・咳 全身倦怠感 嘔吐・腹痛	不明	ワクチン接種歴なし

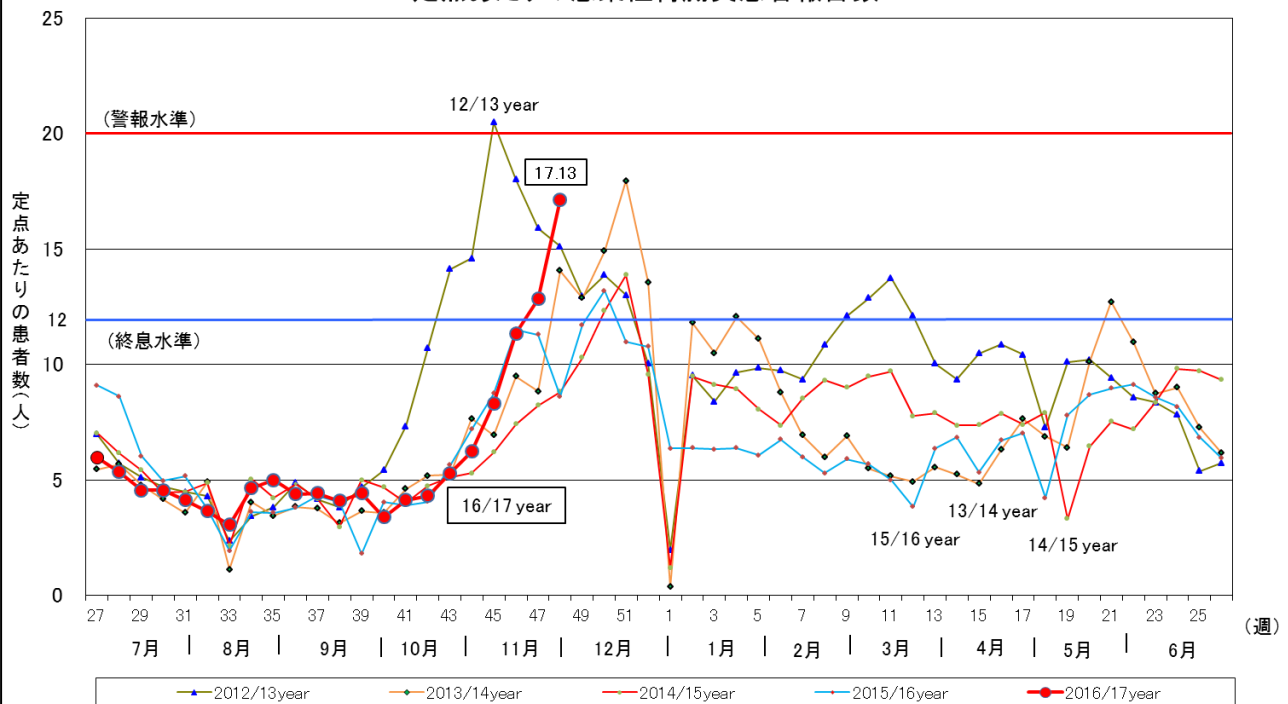
## 神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	届出医療機関所在区	状況
エンテロウイルス71型	咽頭ぬぐい液	中央	2歳1ヶ月男児(11/22採取、手足口病)、集団発生
エコーウイルス18型	咽頭ぬぐい液	中央	1歳女児(11/22採取、感染性胃腸炎、上気道炎)
ノロウイルスGII	便	垂水	1歳女児(11/19採取、感染性胃腸炎)
アデノウイルス3型	鼻腔ぬぐい液	西	7歳2ヶ月女児(11/8採取、40.0℃、インフルエンザ)
A型インフルエンザウイルス (A/H3)	咽頭ぬぐい液	中央	6歳5ヶ月男児(11/15採取、39.0℃、インフルエンザ)
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	北	1歳男児(11/22採取、38.0℃、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	北	1歳8ヶ月男児(11/24採取、38.0℃、RSウイルス感染症)、地域流行

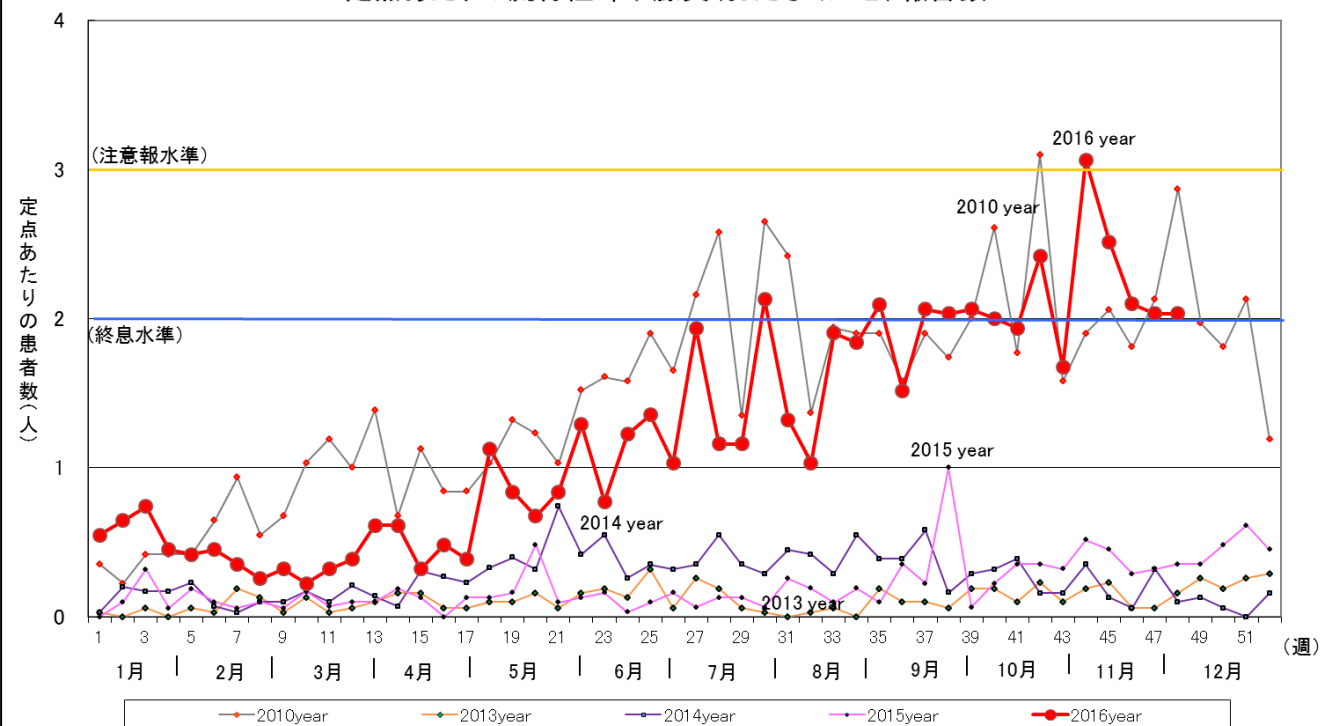


※ 自動集計システムの機種変更に伴い、約2か月間は「疾患別・地区別・定点あたり患者数マップ」の掲載ができません。ご了承ください。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



定点あたりの流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)報告数



※ 自動集計システムの機種変更に伴い、約2か月間は「疾患別・地区別・定点あたり患者数マップ」の掲載ができません。ご了承ください。